

劣化対策・維持保全①

[第3章] 性能別講義録

4.地域性配慮

火山灰が降灰する地域や海岸沿岸部では、火山灰そのものの降灰やそれによる酸性雨、塩害により金物が酸性化し錆や腐食が発生する。腐蝕対策用の製品や塗料の選択に配慮する必要がある。

5.加圧注入処理木材と金物の関係

加圧注入処理木材を使用する場合、金物表面処理を適切に選択し使用する。図6は、加圧注入処理木材と金物の相性を示し、縦軸に保存処理薬剤を、横軸に金物の塗装種類を示しており、組み合わせの色が薄いほど相性が良い(問題が少ない)。

加圧注入処理木材に使用される薬剤であるACQ やCUAZは、汎用性が高く普及しているが、銅を含んでいるため、EPZ(亜鉛メッキ系)で塗装された金物と反応しやすい。そのため、これに反応しにくい塗装がなされた金物を選択するとよい。例えば、絶縁塗装であるDRやZ27+Cは鉄汚染が起きにくく、CUAZによる加圧注入処理木材に対してもほとんど反応しないため、有効である。

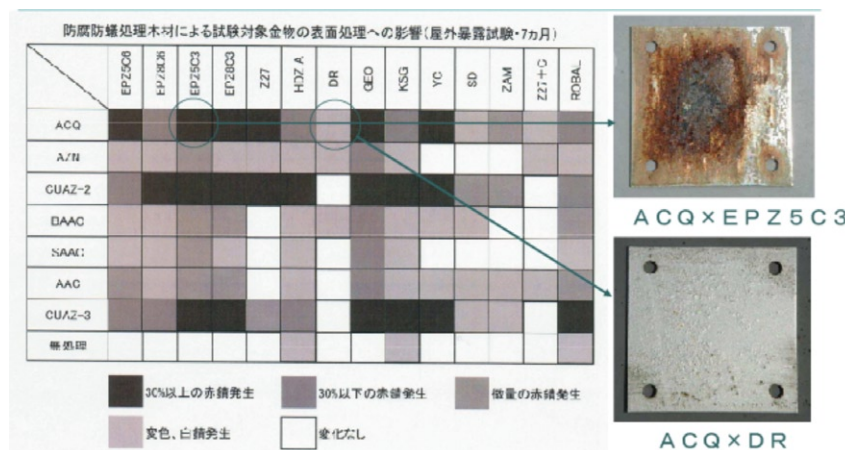


図6 加圧注入処理木材と金物の相性(屋外暴露試験7ヶ月目)

- ・EPZとは、電気亜鉛メッキのことで、一般的に住宅に使用されることが多い。
- ・Z27とは、熔融亜鉛メッキのことで、いわゆるどぶ付けといわれているものである。
- ・DRとは、デュアルコートのこと、亜鉛メッキした後に樹脂を焼き付け塗装する有機質被膜系の絶縁塗装である。
- ・Z27+Cとは、熔融亜鉛メッキでカチオン電着塗装しているもののことである。デュアルコートと同様に絶縁皮膜を作っている。

6.維持管理容易性の確保

(1)作業性への配慮

保守・点検などの維持管理が効率的かつ安全に実施できるよう、各部点検口、作業スペース、搬出入経路、配管スペース、配線スペース、ダクトスペース等を確保する。

また、設備システムなどの機器配置は、保守・点検・清掃が効率的かつ容易に行えるよう配慮する。

(2)更新性への配慮

仕上げ材料や設備機器類の更新が経済的かつ容易に行えるよう、作業スペース、搬出入経路、配管スペース、配線スペース、ダクトスペース等を確保する。

更新周期の異なる仕上げ材料や設備機器類は、交換の際に健全部分の取り壊しをなくすようにするなど、道連れ工事が少なくなるよう配慮する。